



東泉丘小学校だより

令和8年（2026年）8月25日発行



みんなの力で実り多き2学期にしましょう

長かった夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。静かだった校舎も、子どもたちの活気で一気に明るくなり、いよいよ2学期が始まったことを実感しています。夏休み中には、家族との時間を大切にしたり、地域の行事に参加したり、普段の学校生活では得られない経験を積んだりした子どもたちも多かったのではないのでしょうか。7月18日の夕涼みパトロールにもたくさん子どもたちが参加していました。一人ひとりがそれぞれの夏を過ごし、少したくましくなった姿をうれしく思います。



2学期は1年の中で最も長い学期です。日々の学習を積み重ねるだけでなく、運動会をはじめとする学校行事や様々な活動を通して、大きく成長できる機会が数多くあります。仲間と協力して一つの目標に向かって取り組む経験は、学力だけでは測れない力を育てます。時には思うようにいかず悩むこともあるでしょう。しかし、そのような経験を乗り越えながら、自分自身の力や仲間の大切さに気づき、心も体も大きく成長していくことを期待しています。

また、子どもたちの成長は学校だけで支えられるものではありません。家庭での温かい励ましや規則正しい生活習慣、地域の皆様の見守りなど、多くの方々の支えがあってこそ、安心して学び続けることができます。特に2学期は活動が多くなる分、疲れがたまりやすい時期でもあります。十分な睡眠や朝食、体調管理について、ご家庭でも引き続きご配慮いただければ幸いです。

私たち教職員も、子どもたちにとって「できた」「わかった」「頑張ってたかった」と実感できる場面をたくさん積み重ねられる2学期にしたいと考えています。

子どもたち、保護者の皆様、そして地域の皆様と力を合わせながら、一人ひとりの成長が実感できる実り多い2学期にしていきたいと思います。

心を整え、学びを深め、2学期へ

夏休み期間中、学校は子どもたちの姿がなく静かな毎日となりますが、教職員にとっては2学期以降の教育活動に向けて心身を整え、学びや準備を進める大切な期間でもあります。子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、一人ひとりの教職員が心身をリフレッシュし、英気を養うことも欠かせません。また、学期中は日々の授業や学校運営に追われ、じっくりと研修や研究に取り組む時間を確保することが難しいため、夏季休業期間を活用して様々な研修や研究、2学期に向けた準備を進めてきました。

本校では、校内研修として昨年度に引き続き、京都教育大学の久保紀一郎先生をお招きし、次期学習指導要領の方向性も踏まえた授業改善についてご指導・ご助言をいただきました。子どもたちが主体的に学び、考える力を育む授業づくりに向けて、教職員全体で理解を深めました。

また、支援教育に関する研修やいじめ対応研修を実施するとともに、不審者対応研修では豊中警察署の方をお招きし、1学期に実施した不審者対応訓練を振り返りながら、より実効性のある安全対策についてご指導いただきました。さらに、教職員による自主的な研修会も行い、指導方法等について意見交換を重ねました。加えて、近隣のこども園を訪問し、幼保こ小連携に関する研修を実施するなど、子どもたちの育ちと学びを切れ目なく支えていくための取組について理解を深めました。そのほかにも、教職員一人ひとりが自身の課題や関心に応じて外部研修へ積極的に参加し、専門性や指導力の向上に努めました。夏休み中に得た学びや成果を2学期からの教育活動に生かし、子どもたち一人ひとりの成長につながるよう取り組んでまいります。

